

【症 例】

〔年齢・性別〕 55歳 女性

〔現病歴〕 6月30日： 朝方より37.5℃の発熱あり、近医を受診し、
抗菌薬・抗炎症薬を処方され解熱した。

7月6日： 再び発熱

10・15日： 近医を再び受診し抗菌薬・抗炎症薬を処方
されるも解熱せず。20日： 全身倦怠感と熱の持続の為、当院救急外
来受診〔既往歴〕 1978年 一過性心房細動
2005年 僧帽弁閉鎖不全症
※定期的な歯科治療を受けている

〔入院時検査データ〕

一般検査	
比重	1.020
pH	6.5
蛋白	+/-
糖	-
ケトン体	+/-
潜血	1+
ウロビリノゲン	+/-
ビリルビン	-
亜硝酸塩	-
白血球	-

血液検査	
WBC	5.7
RBC	3.81
Hb	12.4
Hct	37.2
PLT	178
Neut	76.2
Eo	0.7
Ba	0.4
Ly	16.0
Mo	6.7

生化学検査	
T-Bil	0.6
総蛋白	7.6
血糖	94
尿素窒素	11.0
クレアチニン	0.5
Na/K/Cl	144/4.2/103
アミラーゼ	52
AST	33
ALT	41
LD	307
CK	65
CRP	1.55
PCT	<0.5

UCG所見：僧帽弁前尖に肥厚を認めるも、
昨年11月と著変なし